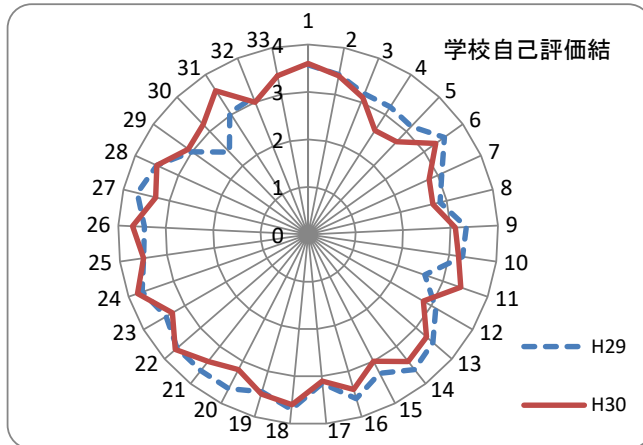




## 今年度をふり返って～自己評価の結果から



今年度の教育活動をふり返り、全教職員によって行った自己評価の結果をお知らせします。

- 4 できている
- 3 どちらかと言えばできている
- 2 どちらかと言えばできていない
- 1 できていない

とし、各項目の合計点数を教職員の数で割った値でグラフ化したものが左図です。

この結果やPTA役員の皆さんや児童のアンケート結果をもとに学校評価委員会において、ご意見を頂戴しました。

学校評価委員会の結果は後日報告いたします。

<input type="checkbox"/> 教育目標について	評価(昨年)
(1)教育目標が児童や家庭地域の実態に即したものになっているか。	3. 6(3. 6)
(2)教育目標は、学年・学級の経営に具現化され、実践されているか。	3. 4(3. 4)
○ めざす児童像「みんな元気で、なかまを思いやり、みずから学ぶ子」の具現化に向けて、学年・学級目標を設定し、経営に生かしている。現在の児童の実態に適していると認識している。	
<input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣について	評価(昨年)
(3)あいさつがしっかりできる子どもに育っているか。	3. 1(3. 2)
(4)きまりを守り、自律的な学校生活が送れているか。	2. 6(3. 2)
(5)規則正しい生活のリズムが身についているか。	2. 7(3. 1)
○ あいさつは重点目標の一つとして位置づけ、継続的に指導できた。児童の意識も向上している。	
○ 地域のあいさつタウン・南の取組に合わせて、毎月第1火曜日に実行委員会が中心となってあいさつ運動に取り組み、意識を高めることができた。活動が定着してきている。	
○ 「早寝、早起き、朝ご飯」の指導を継続して行っており、朝ご飯はほとんどの児童が食べて来ている。	
一部、遅れて登校したり、登校しにくい児童がおり、家庭と連携して職員が協力して迎えに行くなどで対応している。	
<input type="checkbox"/> 児童の主体的な活動について	評価(昨年)
(6)児童活動・清掃活動・委員会活動などで協力できているか。	3. 3(3. 5)
○ 6年生がリーダーシップを発揮し、縦割り活動や委員会活動で、その役割をしっかりと果たせた。	
○ のびのび活動で、縦割り集団での人間関係づくりが定着してきている。高学年の主体性が育ってきている。	
○ 清掃活動では、指導のポイントを共通理解して取組が定着してきているが、高学年でやや主体性に欠けることもある。	
<input type="checkbox"/> 学習活動について	評価(昨年)
(7)基礎基本の知識、技能が身についているか。	2. 8(3. 1)
(8)コミュニケーション能力の高い子どもに育っているか。	2. 7(2. 9)
(9)落ち着いた態度で、学習に取り組んでいるか。	3. 1(3. 3)
(10)地域の特色を生かした学習活動を取り入れることができたか。	3. 2(3. 3)
(11)外国語活動を主体的に推進することができたか。	3. 4(2. 6)
(12)学習の習慣化を図り、自ら学習に取り組めるようになったか。	2. 8(3. 1)
(13)読書が好きで、進んで読書をしているか。	3. 3(3. 5)
(14)校内授業研究を通して、互いの授業力を高め合うことができたか。	3. 4(3. 6)
○ 全般に落ち着いて学習に取り組み、学力調査でも県・国平均と同等の学力を身につけている。	
○ 学力調査から、コミュニケーション力が課題であることから、授業や活動で話し合いや発表を取り入れている。取組を増やすなどして、自分の考えを交流する機会の確保に努めている。	
○ 学校司書を中心に図書室の本の配置や管理を工夫したことで、児童にも分かりやすく利用が増えた。また学校司書やボランティアの読み聞かせやイベントなどで図書室に対する興味関心が高まってきている。学年が上がるにつれて、読書離れの傾向が見られるが、徐々に改善の傾向が見られる。	
○ 英語活動は、授業時間増からALT中心の授業から学級担任中心の授業への移行が課題である。	
<input type="checkbox"/> 心を育てる取組について	評価(昨年)
(15)人との関わりを大切にできる心、思いやりの心が育っているか。	3. 0(3. 3)

(16) 異年齢集団や地域の人と交流する場を設け、豊かな人間性を育てようとしているか。	3. 4(3. 6)
(17) 道徳をはじめ各教科等で命の大切さ、望ましい人間関係、規範意識について計画的に指導しているか。	3. 1(3. 2)
<p>○ すぐに感情的になり、手を出す児童がいる。常に支援者が着くなど全職員で指導に当たっている。縦割り活動や行事等を通じて多くの人と関わり、心に余裕を持てるよう対応していく。</p> <p>○ 1, 2, 3年生は、年に1回ずつ老人会の皆さんと交流をもつことができ、内容も充実してきている。</p> <p>○ 特別な教科道徳を計画的に実施し取組を進めている。課題である豊かな人間性の育成を充実していく必要がある。</p>	
<b>□児童理解について</b>	
(18) 配慮を要する児童について、全職員が情報交換し、協力して支援に当たっているか。	評価(昨年) 3. 6(3. 7)
<p>○ 年2回の定期的な研修に加え、随時配慮の必要な児童について、会議の後等共通理解する場を設けている。</p> <p>○ まず学年の中で情報交換を密にして、課題に対して、早期発見・早期対応に努めると同時に「報告・連絡・相談」を組織的に取り組んだ。校内ケース会議や必要に応じて外部機関との連携も積極的に行った。</p>	
<b>□体力向上について</b>	
(19) 特別活動等で、体力、運動能力を高める取組ができたか。	評価(昨年) 3. 5(3. 5)
(20) 教科体育で運動の好きな子どもを育てることができたか。	3. 2(3. 7)
<p>○ GnP(ぐんぐんのびろプロジェクト)を校務分掌に位置づけ、見直しをもって、継続的に取り組める体制づくりができた。大縄飛びや的当てなど校内のペイントも充実し、児童の意欲付けも行った。</p> <p>○ 「南小ギネス」にも多くの児童が参加し、楽しみながら、体力づくりに取り組む姿が見られた。</p> <p>○ さわやか朝会での「今月の動き」などで、計画的に体づくりの意欲付けを行った。</p>	
<b>□特別支援教育について</b>	
(21) 特別支援教育等、個に応じた指導の充実に努めてきたか。	評価(昨年) 3. 4(3. 7)
(22) 各専門機関と連携し、解決策を見いだそうとしているか。	3. 7(3. 7)
<p>○ 担当者が特別支援員や学生サポーター等の有効な配置を毎日行い、特別支援学級と通常学級との連携を充実させ、個々に応じたきめ細かい指導ができた。</p> <p>○ ことばの教室や教育相談室、サポートセンターと連携し、研修を継続して行うことで課題の改善に取り組んだ。</p>	
<b>□健康安全・危機管理について</b>	
(23) 避難訓練等により、児童に防災の意識・態度が身についているか。	評価(昨年) 3. 3(3. 5)
(24) 児童の病気・ケガ等の対応が適切に行われているか。	3. 8(3. 7)
(25) 安全点検を実施し、安全な環境整備が来ているか。	3. 5(3. 5)
(26) 個人情報保護について、全職員が共通理解し、情報の管理・保管を適切に行っているか。	3. 7(3. 5)
<p>○ 防災に関しては、事前学習に重点をおいた避難訓練を工夫し、児童の意識を高めることができた。今年度も休憩時間での避難訓練を実施することで、実際の場合の対応や配慮について課題が明確になった。</p> <p>○ 養護教諭を中心に怪我に対する家庭との連絡や病院への搬送等を迅速に行った。</p> <p>○ 年間を通じて遊具の点検を定期的に行い、環境整備を行った。</p>	
<b>□保護者・地域との連携について</b>	
(27) スクールボランティア等地域の教育力を活用しているか。	評価(昨年) 3. 3(3. 7)
(28) 授業参観・学校行事・学校だより・HP等を通じて、家庭・地域連携を深められているか。	3. 5(3. 5)
<p>○ 読み聞かせや登下校時の見守り、授業支援など、様々な面で協力いただき年々充実してきている。</p> <p>○ 参観には毎回多くの保護者の方に参加いただいている。学校だよりやHPも定期的に発信し、開かれた学校づくりに貢献している。</p>	
<b>□教育設備・環境、校務分掌について</b>	
(29) 教具・教材などの教育設備、環境が整備されているか。	評価(昨年) 3. 1(3. 0)
(30) PC、LAN設備など、ICT環境が整備されているか。	3. 2(2. 6)
(31) 授業等にICTを積極的に活用しているか。	3. 6(3. 1)
(32) 校務分掌が明確化し、よく機能しているか。	3. 0(3. 1)
(33) 年度当初計画した各教科等の授業時数を予定通り確保できているか。	3. 4( )
<p>○ ひばり学級の学習にタブレットを活用している。校内LANが改善され、教員がICTを活用する機会が増えた。</p> <p>○ 大型モニターテレビが全学級に配備され、授業に積極的に活用し授業理解が高まってきている。</p> <p>○ 教員の異動等により校務分掌が計画的に設定できないことがある。組織的な運営をさらに進めたい。</p> <p>○ 各教科等の授業時数を毎月積算し、年間を通じて計画的に確保できるようにしている。</p>	

